



SOUNDLOOK

CDラジオ

型番 SAD-4958

家庭用

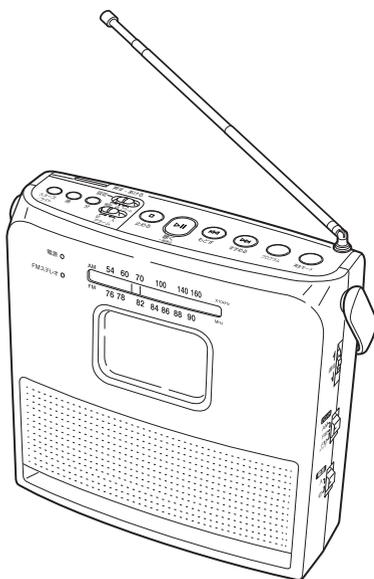
日本国内専用
Use only in Japan

取扱説明書

(保証書別途添付)

このたびはサウンドルックCDラジオをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。正しくご使用いただくために、ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。

なお、お読みになられたあとも、保証書とともにお使いになる方がいつでも見られるところに大切に保管してください。



目次

安全上のご注意	1~3	CDを聴く	10~12
ご使用になる前に	4	ディスプレイの表示について	11
CDについて	4	いろいろな演奏のしかた	11
ディスプレイのバックライトについて	4	プログラム演奏	11
結露について	4	リピート/イントロ/シャッフル演奏	12
各部のなまえ	5	外部音声機器を聴く	13
電源について	6	市販のヘッドホン/イヤホンで聴く	13
家庭用電源で使うには	6	お手入れのしかた	14
乾電池で使うには	6	本体のお手入れ	14
バックアップ電池について	6	レンズのお手入れ	14
時計の合わせかた	7	仕様	14
アラームの使いかた	8	故障かな?と思われたときは	15
スヌーズ機能	8	アフターサービスについて	16
ラジオを聴く	9	お客様の個人情報のお取り扱いについて	19

安全上のご注意

- *ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- *ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる方や他の人への危害や損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。



警告

誤った取扱いをしたときに、死亡または重傷を負う可能性があるもの



注意

誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負ったり、物的損害の可能性があるもの

絵表示例と絵表示の意味



⊘ 記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



● 記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

※お読みになられた後は、お使いになる方がいつも見られるところに必ず保管してください。

警告

煙や異臭、異音が出たり、落下や破損したときは本体の電源を切り、コンセントからACアダプターを抜く

そのまま使用すると、事故の原因になります。
必ず使用を中止し、販売店に修理をご依頼ください。



本体内部に異物や水などが入った場合は、本体の電源を切り、コンセントからACアダプターを抜く

そのまま使用すると、事故の原因になります。
必ず使用を中止し、販売店に修理をご依頼ください。

本体内部に金属物や燃えやすいものを入れない
事故や故障の原因となります。



電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線など)使用しない

火災・感電の原因となります。

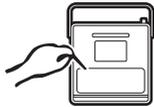
風呂場では使用しない

火災・感電の原因となります。



表示された電源電圧(交流100V)以外の電圧で使用しない(日本国内専用)
火災・感電の原因となります。

本体の通風孔、CDの挿入口などから金属類や燃えやすいものなどを差し込んだりしない
お子様のいるご家庭ではご注意ください。



電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしない

電源コードが破損して火災・感電の原因となります。

電源コードの上に重いものをのせたり、電源コードが本体の下敷きにならないようにする
電源コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。

電源コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気付かず、重いものをのせてしまうことがあります。

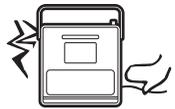


万一、本体を落としたり、破損した場合は、本体の電源を切り、ACアダプターをコンセントから抜く

そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

雷が鳴ったら、機器の金属部やACアダプターに触れない また屋外で使用しない

落雷や誘電雷により感電・やけど・機器の焼損の原因となります。
使用しているときはすぐに機器から離れてください。



濡れた手でACアダプターを抜き差ししない

感電の原因となることがあります。



改造はしない 修理技術者以外の人は分解したり修理をしない

事故やケガの原因となります。
修理はお買い上げの販売店または小泉成器株式会社「修理センター」にご相談ください。



安全上のご注意

⚠️ 注意

ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かない

落ちたり、倒れたりしてケガの原因となることがあります。

油煙や湯気が当たるような場所に置かない

火災・感電の原因となることがあります。

異常に温度が高くなるとところに置かない

本体の変形・変質・火災・故障の原因となることがあります。直射日光の当たる高温の自動車内には置かないでください。



電源コードを熱器具に近付けない

電源コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。



湿気やほこりの多い場所に置かない

火災・感電の原因となることがあります。

レーザー光線をのぞき込まない（CD部）

レーザー光が目にと当たると視力障害を起こすことがあります。

指定以外の乾電池、新しい乾電池と古い乾電池、種類の違う乾電池を混ぜて使用しない

乾電池の破裂・液もれにより、火災・ケガや周囲を汚損する原因となることがあります。

乾電池は加熱したり、分解したり、火や水の中に入れてない

乾電池の破損・液もれにより、火災・ケガの原因となることがあります。

テレビ、オーディオ機器等を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続する
接続は指定のコードを使用する

乾電池のプラス・マイナスは正しく入れる

乾電池の発熱・破裂・液もれにより、火災・ケガや周囲を汚損する原因となることがあります。

乾電池は幼児の手の届かないところに保管する
万一飲み込んだ場合にはただちに医師とご相談ください。



はじめから音量を上げすぎない

突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。特にヘッドホンをご使用になるときは注意してください。



旅行などで長期間、ご使用にならないときは必ずACアダプターをコンセントから抜いておく
火災の原因となることがあります。

お手入れの際は安全のためACアダプターをコンセントから抜いて行う

感電の原因となることがあります。



ACアダプターを抜くときは電源コードを引っ張らない

電源コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

移動させる場合は、本体の電源を切り、必ずACアダプターをコンセントから抜き、外部の接続コードを外してから行う

接続コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

長時間使用しないときは乾電池を取り出しておく

乾電池の液もれで回路がショートし、火災・ケガ・汚損の原因となることがあります。



幼児がCD挿入口に、手を入れないように注意する

ケガの原因となることがあります。



ご使用になる前に

ご注意

●次のような場所では使用・保管しないでください。

- 直射日光を浴びる場所や暖房器具のそば。
 - ちりやほこりなどの多い場所。
 - 風呂場など湿気の多い場所。
 - テレビやチューナーなどのそば。
- 雑音や画像の乱れが起こる場合があります。できるだけ離すか、同時使用を避けてください。

●温度が低い環境で操作されると、まれにCDドアの開閉動作が遅くスムーズでない場合があります。その場合は、あたたかい場所に移動し、しばらくしてから使用してください。

●キャッシュカードや定期券などの磁気カード類、録音テープ、時計などを近づけないでください。

●レンズにほこりがつかないように使用しないときは、CDドアを開けておいてください。またレンズにはさわらないようにしてください。

●本体の分解・改造は絶対にしないでください。

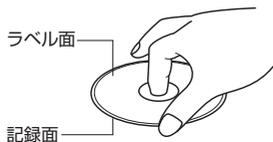
CDについて

CDの種類

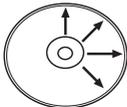
-  マークの入ったディスクをご使用ください。
- CD-R/RWの場合は、CD-DA (Compact Disc Audio) フォーマットで記憶されたディスク(ファイナライズされたもの※)を再生することができます。ただし、ディスクおよび記録に使用したレコーダーの状態によっては再生できない場合があります。
※音楽用CD-R/RW再生対応機器で再生できるように処理すること。
- コピーコントロールCDやCD規格外の特形状ディスクを使用される場合、再生・音質の保証はしかねます。

CDの取り扱い

※記録面に触れないように、CDの端を持ってください。



※CDに指紋や汚れが付いたときは、やわらかい布などで、中心から端へとふき取ってください。



※記録面やラベル面に、紙やテープなどを貼らないでください。またラベルがはがれたCDは使用しないでください。



ご注意

円形以外(ハート型など特形状)のディスク、ひびやそのりのあるディスクは絶対に使用しないでください。

ディスプレイのバックライトについて

ボタン操作後、約20秒後に自動的にバックライトが消灯します。「スヌーズ/ライト」ボタンを押すことで、一時的にバックライトが点灯します。

※バックライトを点灯させるときは、電源スイッチを「入」にしてください。

結露について

周辺の温度が急激に変化した場合、レンズが結露することがあります。レンズに水滴がついた状態では正しく演奏できません。

このような場合、電源を入れ、CDドアを開けたまま約1～2時間たってから使用を開始してください。



各部のなまえ

正面

「電源」ランプ

「FMステレオ」ランプ
FMステレオ放送受信時に点灯します。

ディスプレイ
バックライトについては、P. 4
「ディスプレイのバックライトについて」を参照ください。

スピーカー

ハンドル

ダイヤル目盛

「選局」ダイヤル

「バンド」スイッチ
ラジオ (AM・FM・FMステレオ)

「電源」スイッチ
(入・切)

側面

背面

ロッドアンテナ

CDドア

「音量」ダイヤル

「ファンクション」スイッチ
(CD・ラジオ・LINE IN)

「ヘッドホン」ジャック

「LINE IN」ジャック
(外部入力端子)

「DC IN」ジャック

操作部

「押す-あける」ボタン

「設定」スイッチ

「スヌーズ/ライト」ボタン

「時」ボタン

「分」ボタン

「アラーム」スイッチ

「止める (■)」ボタン

「聴く/一時停止 (▶||)」ボタン

「もどす (◀◀)」ボタン

「すすめる (▶▶)」ボタン

「再生モード」ボタン

「プログラム」ボタン

付属品 ※以下の付属品が同梱されていることを確認してください。

●ACアダプター (型番: SAD-9009)



●取扱説明書



●保証書



電源について

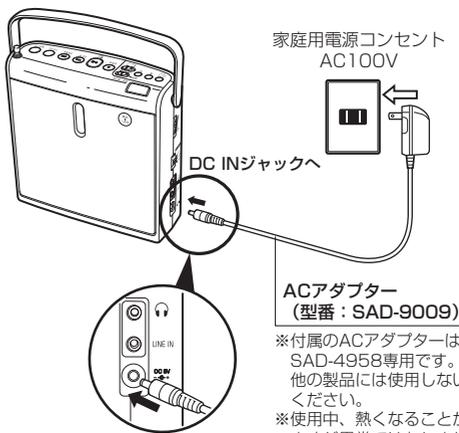
家庭用電源で使うには

1. ACアダプターのプラグを本体のDC INジャックへ差し込む。
2. ACアダプターをコンセントへ差し込む。

ご注意

- ACアダプターを抜くときは、電源コードを持たずに必ずACアダプターを持って引き抜いてください。感電やショートして発火することがあります。
- 電源コードの上に重いものをのせないでください。電源コードに傷がついて、火災や感電の原因となります。
- ACアダプターのプラグを本体に差し込むときは、操作部分を触らないでください。電源を入れた後、操作ボタンが正しく動作しないことがあります。

(本体背面)



家庭用電源コンセント
AC100V

DC INジャックへ

ACアダプター
(型番: SAD-9009)

※付属のACアダプターは、SAD-4958専用です。他の製品には使用しないでください。
※使用中、熱くなることがありますが異常ではありません。

乾電池で使うには

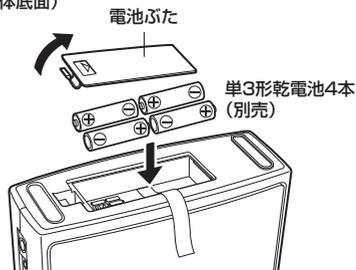
※本機からACアダプターを取り外してください。

1. 電池ふたを開ける。
2. 単3形乾電池4本(別売)を右図のように入れ、電池ふたを閉める。

ご注意

- 乾電池の破損・液もれ防止のために次のことはお守りください。
- 長時間使用しないときは、乾電池を取り出しておいてください。長時間未使用の場合、液もれを起こすことがあります。
 - 使い切った乾電池はすぐに取り出し、分別廃棄してください。
 - 種類の違う乾電池、新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用しないでください。
 - ⊕プラスと⊖マイナスは正しく入れてください。
 - 火の中への投入や、ショート、分解、加熱などはしないでください。

(本体底面)



電池ふた

単3形乾電池4本
(別売)

乾電池の交換目安

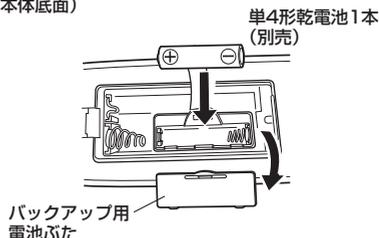
乾電池が消耗してくると、CDが正常に動作しない、音が小さくなる、雑音が多くなるなどの現象が生じます。新しい乾電池と交換してください。

バックアップ用電池について

停電時や乾電池切れのときに、設定した時計機能を一時的に記憶しておく為の電池です。

※バックアップ用乾電池(単4形乾電池(1本))は別売です。

(本体底面)

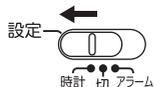


単4形乾電池1本
(別売)

バックアップ用
電池ふた

時計の合わせかた

1. 設定スイッチを「時計」にする。



2. 「時」ボタンを押し、[時]を設定する。

- はやく進めるには長押しします。
- 時計は12時間表示です。

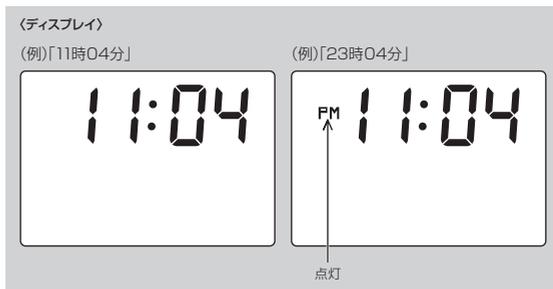
3. 「分」ボタンを押し、[分]を設定する。

- はやく進めるには長押しします。

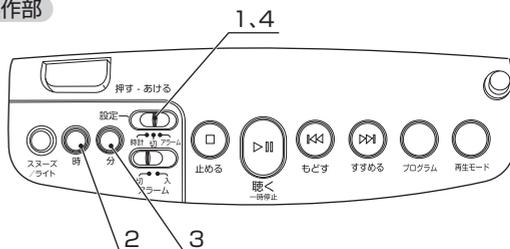
4. 設定スイッチを「切」に戻し、設定を保存する。



※時計機能を保持するためには、バックアップ用電池を入れてください。(P. 6参照)

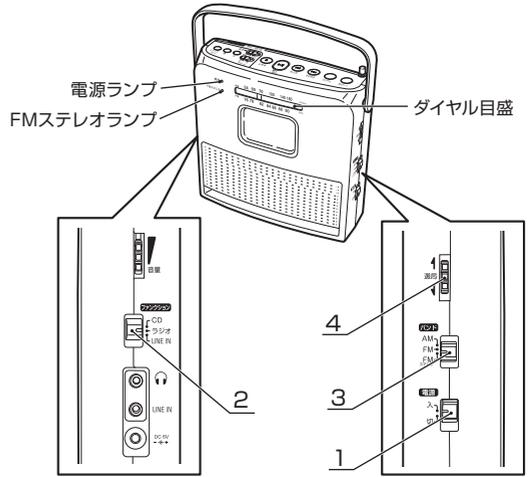


操作部



ラジオを聴く

1. 電源スイッチを「入」にする。
 - 電源ランプが点灯します。
2. ファンクションスイッチを「ラジオ」にする。
3. バンドスイッチで【AM】【FM】【FMステレオ】のいずれかを選ぶ。
 - FMステレオ受信時は、FMステレオランプが点灯します。
4. 選局ダイヤルで聴きたい局を選ぶ。
 - ダイヤル目盛を確認してください。

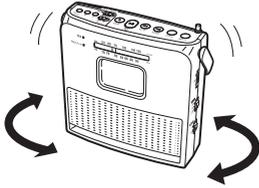


設置場所について

ラジオをきれいな音でお楽しみになるには、なるべく窓ぎわの電波の届きやすいところに置いてご使用ください。

●AM放送の場合

本体を動かし、もっとも良く聴こえるところに設置してください。
(アンテナは本体内蔵)



●FM放送の場合

アンテナを伸ばし、最も良く聴こえる方向に向けてください。



FMステレオ放送で
雑音が多い場合

バンドスイッチで【FM】に切り換える。
(ステレオになりませんが、聴こえやすくなる)
ことがあります。

ラジオを切る

電源スイッチを「切」にする。

CDを聴く

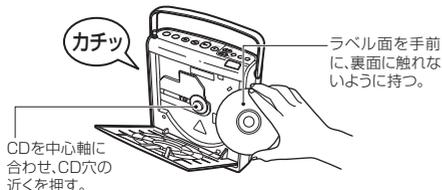
1. 電源スイッチを「入」にする。

- 電源ランプが点灯します。

ご注意
CDドア内部にCDレンズ保護シートがはめられています。ご使用前に保護シートを取り外してください。

2. 「押す-あける」ボタンを押してCDドアを開け、CDをセットする。

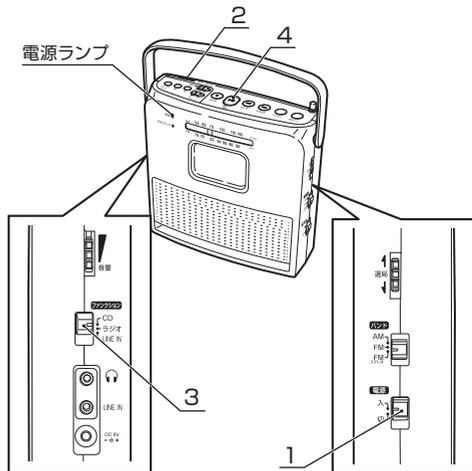
- CDドアを「カチッ」と音がするまでしっかり閉めます。
- ※CD-R/RWに記録されたCD、コピーガード付きのCDは再生できない場合があります。



3. ファンクションスイッチを「CD」にする。

4. 「聴く/一時停止(▶||)」ボタンを押す。

- ディスプレイに総曲数と総演奏時間が表示された後、1曲目から演奏が始まります。
- 全曲演奏が終わると、自動停止します。



〈ディスプレイ〉

CD読み込み中

(例)

演奏開始



音量を調節する	音量ダイヤルを回す。	早送り・早戻りする	演奏中/一時停止中に 「すすめる(▶)」ボタンまたは「もどす(◀◀)」ボタンを押し続ける。 ● ボタンから指を離すと演奏に戻る。
演奏を止める	「止める(■)」ボタンを押す。	曲の頭を探す(スキップ)	演奏中/一時停止中に 「すすめる(▶)」ボタンまたは「もどす(◀◀)」ボタンを押す。
一時停止をする	「聴く/一時停止(▶)」ボタンを押す。 ● 演奏に戻るにはもう一度押す。		停止中 「すすめる(▶)」ボタンまたは「もどす(◀◀)」ボタンで聴きたい曲を選んだ後、「聴く/一時停止(▶)」ボタンを押す。

CDを聴く

ディスプレイの表示について

ディスプレイに「d15E」が表示されたり、「Er」が繰り返し表示される場合、以下の項目を確認してください。

- CDが正しくセットされていますか？
- CDの裏表を間違えていませんか？
- レンズが汚れていませんか？(P. 14参照)
- CDが汚れたり、傷ついていますか？
- 使用できないCDを挿入していませんか？(P. 4参照)

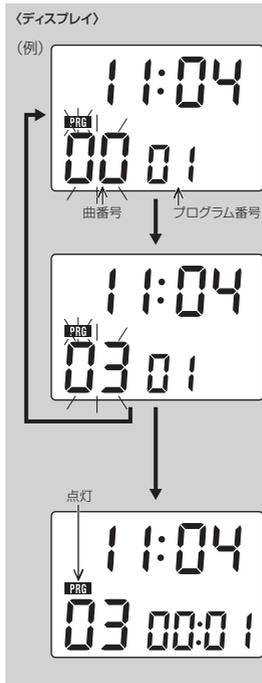
いろいろな演奏のしかた

プログラム演奏 (お好みの曲を予約順に聴く)

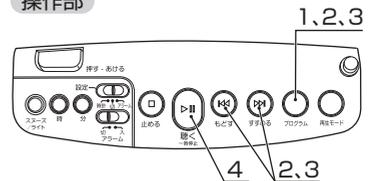
停止中に

1. 「プログラム」ボタンを押す。
 - 曲番号と「PRG」が点滅表示します。
2. 「すすめる(▶▶)」ボタンまたは「もどす(◀◀)」ボタンでお好みの曲を選び、「プログラム」ボタンを押して登録する。
3. 上記2の操作を繰り返し予約していく。
 - 最大20曲までお好みの曲を予約順に聴くことができます。
4. 「聴く/一時停止(▶||)」ボタンを押す。
 - プログラム演奏が始まります。
 - プログラム演奏中は「PRG」が点灯します。

※プログラム演奏終了後、プログラムは解除されます。



操作部



連続で同じプログラムを演奏する

プログラム演奏中に

リピート演奏の全曲繰り返し(ALL)に設定する。(P. 12参照)

プログラム演奏を解除する

CDドアを開ける。

プログラム演奏中に

「止める(■)」ボタンを押す。

リピート/イントロ/シャッフル演奏

演奏中/一時停止中/停止中に

「再生モード」ボタンを押す。

- 「再生モード」ボタンを押すごとに設定が変わります。
- 1曲繰り返し ……お好みの1曲を繰り返し演奏します。



- 全曲繰り返し ……全曲を繰り返し演奏します。

ALL

- イントロ演奏 ……曲の始めの10秒間のみ演奏します。

INTRO

<演奏中に設定した場合>
演奏中の曲が終了後、イントロ演奏がスタートします。

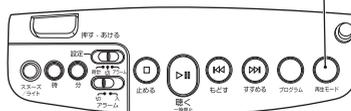
- シャッフル演奏 ……全曲を無作為に繰り返し演奏します。
(CDランダム)

SHUFF

<演奏中に設定した場合>
演奏中の曲が終了後、シャッフル演奏がスタートします。

操作部

「再生モード」ボタン



<ディスプレイ>

1曲繰り返し

全曲繰り返し

イントロ演奏

シャッフル演奏
(CDランダム)



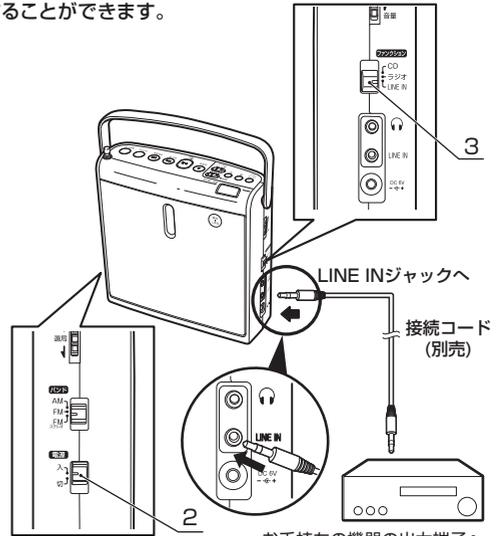
通常演奏



外部音声機器を聴く

■外部の音声機器をつないで、本機をスピーカーとして使用することができます。

1. 本体側面のLINE INジャックと外部音声機器の音声出力端子を接続コード(別売)でつなぐ。
2. 電源スイッチを「入」にする。
 - 電源ランプが点灯します。
3. ファンクションスイッチを「LINE IN」にする。
4. 外部に接続した音声機器を再生する。



お手持ちの機器の出力端子へ

- お手持ちの機器の出力端子にあったプラグ形状の接続コードを使用してください。

音量に過不足を感じる時

本機と外部に接続した音声機器の両方の音量を調節する。

※外部に接続した音声機器の出力が小さく、音がうまく聴こえない場合があります。

ご注意

外部の音声機器を聴くとき以外は、接続コードを本体から取り外してください。

CDやラジオ等を聴く場合、接続コードが本体に差し込まれたままになっていると、スピーカーから音が出ません。

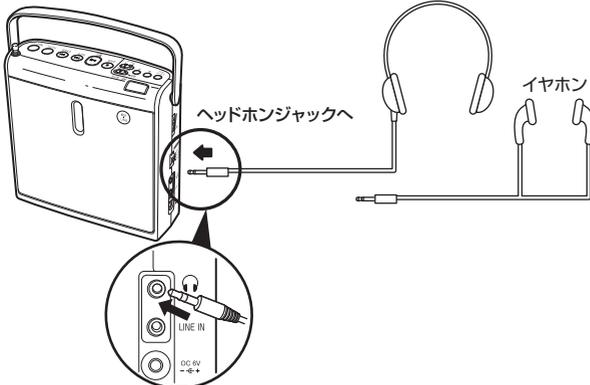
市販のヘッドホン/イヤホンで聴く

■市販のヘッドホン/イヤホンをお手持ちの本機につないで、演奏を聴くことができます。

市販のヘッドホン/イヤホン
(φ3.5mmのステレオミニプラグ)

ヘッドホン

イヤホン



ご注意

- ヘッドホン/イヤホンをお手持ちの本機につなぐときは、本機の音量を下げてください。
- 耳を刺激するような大きな音量で長時間聴くことは避けてください。

お手入れのしかた

本体のお手入れ

乾いた布などで拭いてください。

汚れがひどいとき

中性洗剤をうすめて布にふくませ、よく絞ってから汚れを拭きとってください。その後、から拭きしてください。



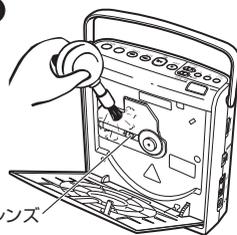
ご注意

ベンジンやアルコール、シンナーなどでは拭かないでください。本体を傷める原因となります。

レンズのお手入れ

ごみやほこりがついた場合

レンズを市販のプロアーで2~3回吹き、プロアー先端のブラシでごみやほこりをはき出します。最後にもう一度レンズをプロアーで吹いてください。



ご注意

レンズには指紋や汚れをつけないようにしてください。

仕様

受信周波数	FM:76.00~90.00MHz AM:522~1629kHz	電源	2電源方式 ●AC100V 50/60Hz(付属ACアダプター使用時) ●DC6V 単3乾電池×4本(別売)
アンテナ	FM:ロッドアンテナ AM:フェライトバーアンテナ内蔵	電池持続時間 (アルカリ乾電池使用時)	ラジオ受信時(JEITA):約48時間 CD再生時(JEITA):約7.5時間
スピーカー	5.6cm(8Ω)×2個	消費電力	8W
入力端子	LINE IN 端子×1	最大外形寸法	約165(幅)×75(奥行き)×165(高さ)mm
出力端子	ヘッドホン端子×1	質量	約670g(乾電池を除く)
実用最大出力	0.6W+0.6W(JEITA)	付属品	ACアダプター(型番:SAD-9009)、 取扱説明書、保証書

●ACアダプター (型番:SAD-9009)

入力	AC100V 50/60Hz 10VA	コード長	約1.8m
出力	DC6V 800mA	プラグ形状	φ3.5mm -  +

※本機の仕様及び外観については、改良のため予告なく変更することがあります。

故障かな？と思われたときは

症状	チェックポイント	処置のしかた
電源が入らない。	乾電池は正しい方向で入っていますか？	乾電池の +- を確かめてください。
	ACアダプターがはずれていませんか？	正しく接続してください。
CDディスクの演奏が始まらない。	乾電池が消耗していませんか？	新しい乾電池と交換してください。
	CDディスクの表裏を間違えていませんか？	ラベル面を上にしてください。
	レンズが汚れていませんか？	お手入れのしかたを参考にクリーニングしてください。(P. 14 参照)
	CDディスクが入っているのに「E15E」または「Er」と表示する。	CDディスクを取り出してCDぶたを開け、1時間程置いてください。
	CDディスクが汚れていませんか？	汚れを落としてください。
CDディスクの音が飛ぶ。	CD-R、CD-RWが入っていませんか？	CD-R、CD-RWによっては正常に使用できない場合があります。
	強い振動を与えていませんか？	振動を与えないでください。
	CDディスクがひどく汚れていませんか？	汚れを落としてください。
	CDディスクに大きな傷はありませんか？	CDディスクを替えて試してください。
	乾電池が消耗していませんか？	新しい乾電池と交換してください。

アフターサービスについて

1. 保証書

- 保証書は別途添付されています。
保証書はお買い上げの販売店で「販売店名・お買い上げ日」などの記入をご確認のうえ、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。保証期間はお買い上げ日より1年間です。

2. 修理を依頼されるとき

- 保証期間中は
商品に保証書を添えてお買い上げの販売店にご持参ください。保証の記載内容により無料修理いたします。
- 保証期間が過ぎているときは
お買い上げの販売店にご相談ください。修理により使用できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。

3. 補修用性能部品の保有期間

- CDラジオの補修用性能部品の保有期間は製造打切後6年です。
補修用性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。

4. アフターサービスについてご不明の場合

- アフターサービスについてご不明の場合には、お買い上げの販売店か、保証書に記載の小泉成器株式会社「修理センター」にお問い合わせください。

愛情点検		★長年ご使用の音響機器の点検を！	
	ご使用の際このようなことはありませんか	<ul style="list-style-type: none">●電源コードやACアダプターが異常に熱い。●電源コードに深いキズや変形がある。●コゲくさい臭いがする。●その他の異常、故障がある。	ご使用中 止 このような症状の時は、故障や事故防止のため、スイッチを切り、コンセントからACアダプターを抜いて必ず販売店にご相談ください。

MEMO

MEMO

お客様の個人情報のお取り扱いについて

お受けしましたお客様の個人情報は当社個人情報保護方針に基づき適切に管理いたします。また、お客様の同意がない限り、業務委託をする場合及び法令に基づき必要と判断される場合を除き、第三者への開示は行いません。

〈利用目的〉

お受けしました個人情報は、商品・サービスに関わるご相談・お問い合わせ及び修理対応のみを目的として使用させていただきます。尚、この目的のために小泉成器株式会社及び関係会社で上記個人情報を利用することがあります。

〈業務委託の場合〉

上記目的の範囲内で対応業務を委託する場合、委託先に対しては当社と同等の個人情報保護を実施させるとともに適切な管理・監督をいたします。

お客様相談窓口

この商品に関するご意見・ご質問については下記へお寄せください。

ご意見・ご質問について

お客様相談窓口



ナビダイヤル
(全国共通番号)

0570 (07) 5555

■IP電話などからご利用いただけません

〒541-0051 大阪市中央区備後町3丁目3番7号 TEL. 06 (6262) 3561 FAX. 06 (6268) 1432

修理に関するお問い合わせ

東日本修理センター



ナビダイヤル
(全国共通番号)

0570 (05) 8888

■IP電話などからご利用いただけません

〒344-0127 埼玉県春日部市水角1190 TEL. 048 (718) 3340 FAX. 048 (718) 3350

西日本修理センター



ナビダイヤル
(全国共通番号)

0570 (05) 8888

■IP電話などからご利用いただけません

〒559-0033 大阪市住之江区南港中1丁目3番98号 TEL. 06 (6613) 3145 FAX. 06 (6613) 3196

部品に関するお問い合わせ

部品センター



ナビダイヤル
(全国共通番号)

0570 (00) 3211

■IP電話などからご利用いただけません

〒559-0033 大阪市住之江区南港中1丁目3番98号 TEL. 06 (6613) 3211 FAX. 06 (6613) 3299

小泉成器株式会社

〒541-0051 大阪市中央区備後町3丁目3番7号
TEL. 06 (6262) 3561 FAX. 06 (6268) 1432

受付時間：平日9：00～17：30
(土・日・祝日・夏期休暇・年末年始を除く)

2014年6月現在(所在地、電話番号などについては変更がある場合がありますので、その節はご容赦願います。)